

学校だより

# 眺洋山 6月号



2020年（令和2年）6月1日  
福山市立常石小学校

めざす子どもの3つの姿 「**自立**・**共生**・**自己実現**」



離れていても つながることはできる！

# 学びを止めないためのICT活用に、今後も取り組みます

5月の休業中、子どもの学びを止めない取組の実施の一つとして、ICT（情報通信技術）を活用した、教師と児童、児童と児童の学習内容の交流に試験的に挑戦しました。十分な取組といえるレベルではありませんが、取り組んだICTの活用を紹介します。

## ①『zoom』の活用

まず挑戦したのは、インターネット上のコミュニケーションツールである『zoom (ズーム)』の活用です。曜日と時間を指定し、各学年で、先生と子どもたちとの対話を試しました。毎回の参加者は各学年とも4~5名程度でしたが、それでも、久しぶりに友達や先生とつながることのできた子どもたちは楽しそうでした。全員での参加は難しいものの、離れた場所からの学習相談や対話などの一つとして今後も活用できそうでした。



Zoomの活用の様子

## ②『Google Classroom』の活用

Google Classroom(グーグルクラスルーム)は、インターネット上に作られたクラスの掲示板のようなものです。先生からメッセージを書き込んだり、簡単な問題を出題したりしました。こちらから参加者は、各クラスで4~6名程度です。参加できた子どもたちは、問題に解答したり、友達と会話したりしました。また、友達が作成した作品や動画を見ることもできました。



クラスルームの画面

また、このGoogle系のアプリの一つとして、保護者の方には、Google フォームを活用したアンケートも実施させていただきました。

## ③『youtube』の活用

Youtube (ユーチューブ) は、動画投稿サイトです。数は多くありませんが、子どもたちが取り組んだ課題の中でも、家庭学習だけでは理解が不十分だったものや、間違いが多かったものについての解説動画を製作し、学年等を限定して視聴していただきました。



Youtubeの動画の一部

冒頭でも述べましたが、いずれも、教職員もまだ手探りでの活用でしたので、十分な取組とするまでには至りませんでした。また、ご家庭によってICT環境も違うことから、現段階で全体への取組にすることは難しいと考えております。しかし、コロナウイルス感染拡大の第2波、第3波に備え、子どもたちの学びを支える一つの手段となり得ると感じる事ができました。教職員一同、さらに技術を身に付けるとともに、よりよい活用方法を模索していきます。同時に子どもたちが、学校での情報教育の一環として活用することで、いざというときに利用できる技術を身に付けられるようにしたいと思います。

# 新型コロナウイルス感染症予防に向けた 学校の取組

全国的な緊急事態宣言も解除となり、収まってきているように感じる新型コロナウイルス感染症ですが、今後、いつ何時、再び猛威を振るうか予断を許さない状況にあります。

学校でも、子どもたちが新しい生活様式を身に付け、健康で安全な生活を送ることができるよう、当面、次のようなことに取り組みます。

## ① 正しい知識の伝達と、感染症に関連する差別や偏見への指導

現在、新型コロナウイルスに関する情報が世の中にあふれています。その中には、誤った情報やデマも含まれています。正しい情報を知るためにはどうすればいいかについて考えるとともに、予防の方法等についても改めて伝えていきます。また、感染者、濃厚接触者、医療従事者への偏見に基づく差別は、許されないことについても資料等を用いて指導していきます。



保健室前の掲示もコロナ関連です

## ② 健康観察の実施

健康観察カードを引き続き各家庭でつけていただきます。その際、発熱等体調不良のある場合は、登校せず、自宅待機するようお願いいたします。また学校においても、子どもたちの様子に応じて検温し、熱がある場合は保護者の方へ連絡させていただきます。毎朝、児童玄関でチェックするので、ランドセル等の出しやすい位置に入れておいてください。

## ③ 手洗い、消毒の徹底

国の資料では、石けんで 10 秒もみ洗い後、流水 15 秒すすぎの 2 セットで、ウイルスは 1/100 万になるとされています。外から入る時など、必ず手洗いをするように指導します。また消毒液を各クラスに用意し、こまめな消毒を行います。

## ④ マスクの着用

教職員も子どもたちも常時マスク着用とします。忘れた場合等は、学校で配付します。

## ⑤ 3つの密（密閉、密集、密接）を避ける

教室の窓を開け、常時換気を行います。また、机の間隔を広くするとともに、話し合い等が必要な場合も、話し合う人数や互いの距離が近くなりすぎないようにします。一般的に他の人との距離は 1m から 2m 開けるといわれていますが、その 1m から 2m の間隔を子どもたちが自然と学べるような掲示等を校内に行います。また、全校が集まる必要のある活動もしばらくは中止、もしくは学年ごとによる分散開催等とします。



ハリネズミ実物大 5 匹で 1m のソーシャルディスタンス

しばらくはコロナとどう向き合うかの日々が続きます。上記以外にも、子どもたちとコロナについて話し合い、自分で対策を考えたり選んだり決めたりしていけるよう工夫したいと考えています。

# 5月の休業中のいろいろ



教材室をペイント！（今後はプレイルームとして活用予定）



介助の先生たちによる壁のペイント



自由登校した子もお手伝い

常石小インスタ映えポイント？

## 自由登校日&学力補充日の様子



家では分らなかったところを先生と一緒に学習



影を使ってアルファベットの学習



学校図書館で読書  
積んでいる本の数にびっくり



家から持ってきた工作に取り組む子も

